

## 平成29年度 講師派遣活動記録

整理番号:20170817/0824

事業名	環境教育およびエコロジカルライフを実践するための講座開催事業
-----	--------------------------------

活動名	平成29年度 市民活動体験講座
-----	-----------------

担当者	高根 美保	主催団体	NPO法人エコライフはままつ
-----	-------	------	----------------

事業区分	講師派遣	事業サイクル	継続事業
------	------	--------	------

活動の目的	中学生・高校生を対象に、環境活動に参加することで環境に関する認識や理解を深め、将来の環境を担う人材を育成を行う。また、学生が活動に参加することで、その活動の重要性や実状について学ぶことができる。
-------	---

実施内容	
活動日時	平成29年8月17日(木)、8月24日(木) 10:00~14:00
活動場所	浜松市西部清掃工場「えこはま」(浜松市西区篠原町26098-1)
活動者名	高根美保
詳細	「もったいない」を実践しよう！ ①ごみの状況説明 ②減量の取り組み事業紹介 ③ごみ減量から目指す先 ④西部清掃工場の施設見学 ⑤もえるごみの減量体験ワークショップ ⑥リユース体験ワークショップ

事業の成果	参加者:9名(中学生7名、高校生2名) 8/17 4名、8/24 5名  現在の浜松市で出されているごみの状況を説明。 ごみの減量を行う方法として「2R」活動の紹介と実践への誘導。 ・もったいない市・食器市の紹介 ・生ごみ減量セミナー&「段ボールde生ごみ処理」紹介。 ・生ごみの水切り方法の事例紹介 ・リユース活動と実績紹介と参加誘導:貸出食器、楽器支援活動 ・リデュース活動を含めたりサイクル活動の紹介。実践参加への誘導。  家庭内のもえるごみワークショップ:実際の量を体験し正しい分別を行う。 不要なものを直ぐにリサイクルする事を考えず、まずは、再利用の方法を考えそこから不要なものを手に入れない活動を考えるワークショップ。:新聞エコバッグづくりの体験から、スーパー等の容器包装について考える。
-------	---

事業の課題	小学4年生の学習でごみの減量について学ぶが、その後に学習する機会がなく「3R」の言葉の意味なども理解されていない状況がある。生活の中で少しでもごみの出ない、出す前に考える。継続した教育が必要と考えられる。
-------	--

## 記録添付

